

# 2019年度 学校経営方針

## はじめに（教育理念）

『一人一人の子どもはかけがえない存在である』という考えを根底におき、生徒・保護者と教職員、地域と学校のつながりを大切にしていきます。そして、生徒が自ら学び、自らを導くため、生徒相互がよりよい人間関係を築き、その中で互いに成長し合う姿を念頭に本校では『主体的に学び、互いに育つ集団づくり』を目指します。

### 学校教育目標

「心豊かに、共に学ぶ生徒」を達成するために、次のように経営を進める。

## 1 学校経営の目指す姿とねらい

### (1) 主体的に学び合う授業

- ・生徒の中から学習課題が生まれ、『他者意識のある表現力が高まる』という視点から授業改善を進めます。
- ・ICT（パソコン、タブレット等情報通信技術）を活用した授業を充実させます。
- ・単元や題材などの内容や時間のまとまり（単元構想）を考える力を高め、生徒の深い学びにつながる授業づくりに取り組みます。
- ・総合学習（白尾学習）では、「防災教育」を基盤に探究学習を推進します。さらに、多様性のある課題設定と追究への支援を充実させます。
- ・学習環境を整えるために、授業の準備や挨拶等、学習規律の確立を目指し全教職員で取り組みます。
- ・ノート指導と家庭学習の手引きを活用し、学習の質の向上を目指します。
- ・家庭学習の充実のため自主学習への助言をします。

### (2) 自尊感情を育む人間関係

- ・特別の教科道徳を要とし、発達段階に応じた規範意識や自尊感情を高めるとともに、人権教育を推進し、豊かな心を育む活動に取り組みます。
- ・学級文庫の設置、読み聞かせボランティアの協力の下、生徒が読書に親しむ活動を推進します。
- ・学級づくりを基盤としてよい人間関係を育成のため、「人間関係づくりプログラム」や「教育心理検査Hyper-QU」を活用して職員全体でその価値を共有し、学級づくりに活かします。
- ・すべての生徒が、共に生活し、共に学び合える包括的な教育（インクルーシブ教育）を推進します。
- ・リーダーの育成と生徒が自らの手で創り出す生徒会活動、学校行事を目指します。
- ・「あいさつと歌声」の響く学校づくりを進めます。

### (3) 健康で安全な生活

- ・生活安全、交通安全を意識した取組として、交通安全教室、街頭指導等を実施し、社会のルールを守ることや命を大切にすることをあらゆる教育活動の中で育てます。
- ・インターネット、携帯電話、スマホといったメディアの正しい使い方を身に付けます。
- ・防災・減災教育の充実を目指し、各教科、各領域（学級活動・行事・生活指導等）で「自分の命は自分で守る」生徒を育てます。
- ・個人目標を設定しての主体的な体力づくりを進めます。
- ・給食の時間を活用し、食育の充実をめめます。（わくわくランチタイムの活用）。

#### (4) 家庭・地域に開かれた学校

- ・広報活動（学校だより・ホームページ・メール配信等）を充実し、学校の教育活動を保護者・地域の皆さんにより分かっていただく環境を整えます。
- ・生徒が地域の行事や防災訓練等へ、積極的に参加します。また、生徒が参加しやすい環境を整えます。
- ・区長様と語る会や地区懇談会を開催したり、職員が地域へ足を運んだりしながら、地域のもつ課題や要望の把握に努めます。
- ・家庭学習の取組等を通じて小中で連携するなど、縦の接続を意識した活動に取り組みます。
- ・教育環境の整備に努めます。

#### (5) 子供の豊かな育ちを実現する学校事務

- ・正確、迅速な事務処理と計画的・効果的な予算の執行を進めます。

## 2 ねらいを達成するための具体策（教育活動）

教育の根幹は生徒に「自ら考え、自ら判断・決定し、自ら行動し、自らの言動には責任をもつ」つまり「自主・自律の精神」育成することにあることを教職員で共通理解し、学年・学級を中心に、意図的・計画的に教育活動を進める。

### 学校経営目標

「主体的に学び、互いに育つ集団づくり」

#### (1) 主体的に学び合う授業

- ア 「学び合う授業」と確かな学力
  - ・生徒の中から学習課題が生まれ、『他者意識のある表現力が高まる』という視点から授業改善（思考が活性化する単元構想の継続）
  - ・ICTを活用した授業の充実
- イ 充実した総合的な学習の時間（白尾学習）
  - ・「防災教育」を基盤に探究学習を推進
  - ・多様性のある課題設定と追及への支援
- ウ 学習習慣（学習規律、家庭学習）の定着
  - ・学習規律の確立（学習の準備、挨拶等）
  - ・ノート指導と家庭学習の手引きの活用
  - ・自主学习への助言

#### (2) 自尊感情を育む人間関係

- ア 豊かな心を育む活動
  - ・特別な教科道徳の授業の充実と人権教育の推進
  - ・読書活動や学校図書館経営の充実と学級文庫の設置
- イ 居心地のよい学級集団
  - ・教育相談の充実（SCと連携したケア会議の開催）
  - ・インクルーシブ教育の推進
- ウ 自治力を育てる特別活動
  - ・生徒会活動の充実（二大行事、委員会活動等）
  - ・リーダーの育成とフォロワーの意識向上

#### (3) 健康で安全な生活

- ア 安全な生活を意識する取組
  - ・生活安全、交通安全、情報モラル教育の推進
  - ・保健関係の緊急対応研修の実施
- イ 自分の命は自分で守る生徒

- ・避難訓練の実施方法を工夫
- ・各教科、各領域で防災・減災教育を充実
- ウ 健やかでたくましい心身
  - ・主体的に取り組む体力づくり
  - ・給食の時間を活用した食育の充実（わくわくランチタイムの積極運用）

#### (4) 家庭・地域に開かれた学校

- ア 教育活動がより伝わる広報活動
  - ・学年、学校だより等を通したとおした情報の発信と共有
  - ・ホームページのタイムリーな更新とメール配信の適時性向上
- イ 地域と共に在る学校（関係機関との連携）
  - ・地域行事、地域防災への積極的参加（区長様と語る会）
  - ・関係機関との連携及び地域人材を活用した教育活動の実践
- ウ 「開かれた学校」に対応する環境づくり
  - ・教育環境の整備に向けた校内巡視
  - ・明るい対応、学校の「顔」としての事務室経営

#### (5) 子供の豊かな育ちを実現する学校事務

- ア 教員が教育活動に専念できる体系づくり
  - ・正確、迅速な事務処理と計画的・効果的な予算執行

### 3 教師の関わり

#### (1) 生徒指導の基本

- ア 生徒一人一人の心に寄り添う指導（生徒指導は個人内評価）
- イ 公正・公平な指導
- ウ 初期対応と報告・連絡・相談・（報告）の確実な実施

#### (2) 学年・学級づくりを基盤とした組織としての指導

- ア 様々な場面を通して学級や学年、学校への所属感を育成する指導
- イ 朝の会や学年集会等の日常活動を通して心を育てる指導

#### (3) 学校評価等、PDCAサイクルを活かした指導

- ア 自己評価、外部評価等を活用した学校評価結果の公表
- イ 評価結果を踏まえた改善策の公表と実践

#### (4) 研修の充実

- ア 計画的な研修の実施
- イ 授業研究を中心とした研修の実施（主体的に学び合う授業）
- ウ 生徒の思考の流れにそった単元構想の工夫・改善
- エ 「学び合い」を大切にした授業の日常化